

◆◆◆◆◆ <!> 警告 ◆◆◆◆◆

ご使用前に必ずお読みいただき、注意事項を遵守し、自動車整備に関する有資格者が正しく作業して下さい。間違った使用は、塗装面を傷めたり、感電・漏電などによる事故につながる恐れがあります。また、ブレーキシステムのトラブル原因となり危険です。

◇◇◇◇◇ 一般的な注意事項 ◇◇◇◇◇

- <!> 作業する車両の整備要領書を用意し、メーカー指示の注意事項を遵守して作業して下さい。
- <!> ブレーキフルードは、メーカー指示の注意事項を十分に確認の上ご使用下さい。あらかじめ、保護シートなどで車体をカバーし、目や口に入らないように作業者自身も防備して下さい。
- <!> 空回しおよび15分以上の連続運転は禁止。モーター・ポンプが焼き付きます。また、ポンプからの異音、発煙などの際は、即電源を切り安全確認を行って下さい。
- <!> パイロットランプは、OM-35Sの場合、スイッチON時点で点灯する作動灯1灯です。OM-35Wは、圧送ポンプ作動時に緑、廃液吸引ポンプ作動時に赤が点灯する作動灯2灯です。点灯状態に異常がないことを確認して下さい。また作業後は、必ずACプラグを抜いて保管して下さい。
- <!> ヒューズ(2A)が切れた時は、そのまま交換して使用しないで下さい。漏電またはモーター・ポンプにトラブルが発生している可能性があります。
- <!> リザーバータンクの損傷、接続ホースの劣化、他配管接続部に不備がない事を十分に確認の上、適正圧力(100KPa～150KPa)で圧送して下さい。圧力調整バルブ全閉時(最大加圧)には、200KPa程度の圧力を発生するように設定しておりますが、リザーバータンクの破裂、ホース抜けなどによるフルード飛散の原因になります。また、ポンプ(リリースバルブ)にトラブルが発生すると、約500KPaまで加圧します。圧力調整バルブは、はじめから全閉では使用しないで下さい。
- <!> 劣化した消耗部品は、必ず当社指定部品と交換してください。
- <!> ブレーキフルードおよび本機器は、水分やほこりにより性能が劣化し、故障・事故の原因となります。作業前後には、リザーバータンク内および各部品を十分に清掃し、湿気や汚れ、高温となる場所を避けて、清潔な状態で作業・保管して下さい。
- <!> 本機器は、火気厳禁および危険物取扱い場所では使用できません。また、本機器をむやみに分解または改造したり、指定用途以外には使用しないで下さい。
→→→ 以上、トラブル発生時および不明な点は、当社サービス部までご相談下さい。 ←←←

◇◇◇◇◇ その他の注意事項 ◇◇◇◇◇

◇ アタッチメント、接続キャップ、ホースなどのゴム部品、フルードフィルター、DCモーター一体型ポンプ(標準使用合計約300時間)は消耗品です。年に数回は、汚れや損傷などの点検を行って下さい。ゴム類の劣化や損傷はフルード漏れ、フィルターが目詰まりは、圧送および吸引不良によるポンプの焼き付き原因となります。耐久期間は、使用頻度・状況により異なります。お早めに、補修部品と交換して下さい。

◇◇◇◇◇ 作業手順・使用方法 ◇◇◇◇◇

1. リザーバータンク内の、ストレーナー、パッキンなどを取り外します。フルード交換の場合は、古いフルードを抜き取ります。

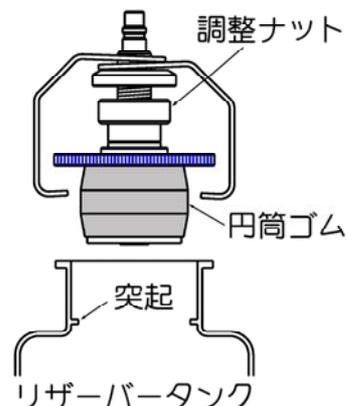
吸引パイプを差し込み、スイッチを左側(吸引)にONします。(OM-35Wの場合)
※エア抜き作業のみの時にも、口アールレベル程度まで抜き取ってください。アタッチメントの挿入時に、あふれ出す可能性があります。また、本機器での作業完了後、油面は作業前よりも上がります。

2. 作業車両の、リザーバータンク内径に合うアタッチメントを選定します。

※適合サイズ内の円形タンク以外には使用できません。また、サイズ内であっても、周囲のスペースがない場合、内部に突起などの変形がある場合は使用できません。対策用の、専用オプションアタッチメントを別途お求めください。

3. あらかじめ、調整ナットを右回転して、リザーバータンク内径近くまで、アタッチメントの円筒ゴムを拡張させておきます。そして、リザーバータンクに奥まで完全挿入し、調整ナットをしっかり締め付け、円筒ゴムを密着させます。

アタッチメントの適合サイズ	
品番	適合リザーバー内径
A(小)	φ18～φ30
B(中)	φ30～φ45
C(大)	φ45～φ60
D(特大)	φ60～φ75

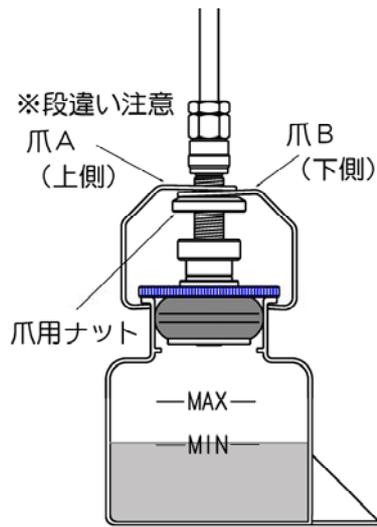


※拡張せずに挿入すると、内部の突起などに干渉し、完全装着できない場合があります。特にトヨタ車は、内部突起が浅い位置にあるためご注意ください。

4. アタッチメントは、固定金具で確実に固定してください。爪式固定金具は、取り付けの簡単なタイプですが、下記のような不安のある場合は、確実なチェーンプレート式固定金具をご使用ください。

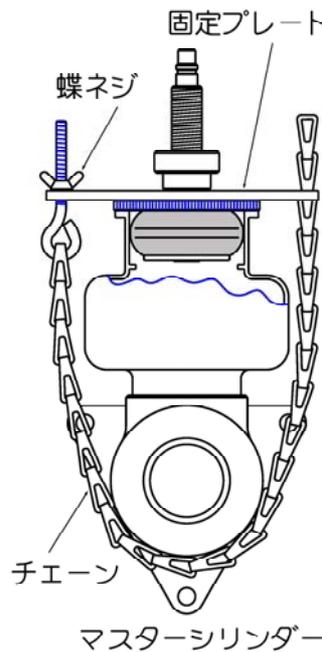
- ◇ 爪を掛けるための、しっかりした突起部がない。または、ネジなどで段差がある。
- ◇ リザーバタンク装着部の、パッキン、バンドまたは接続ホースが劣化している。

5-1, 爪式固定金具の取り付け方



リザーバタンクの、出来るだけ丈夫そうな突起部分に爪Bを掛け、180度対向した水平位置に爪Aを掛けます。爪用ナットを左回転し、爪A Bを吊り上げて固定します。
※左右に少し動かして、確実に固定されていることを確認してください。

5-2, チェーンプレート式固定金具の取り付け方

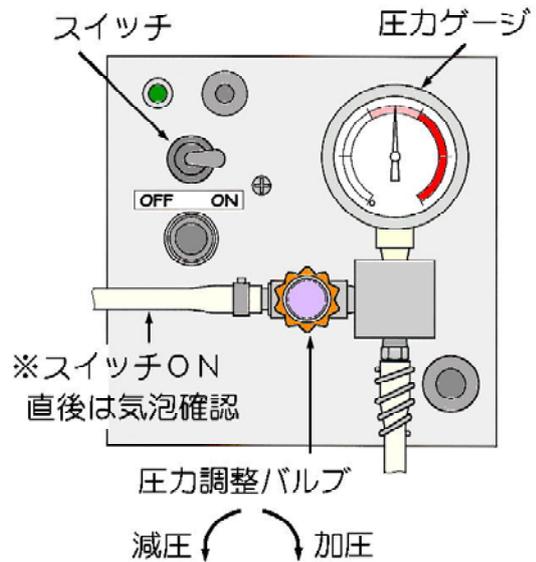


3. 爪を外します。アタッチメントC Dに使用の場合は、爪用ナットも外してください。固定プレートをのせ、蝶ネジを一番ゆるめた状態で、チェーンをマスターシリンダー下部に通し、いっばいに張った状態でプレートの切り欠き部に差し、蝶ネジを締め付けます。
※ブレーキ配管、配線などに干渉しないようご注意ください。

6. 接続キャップを、「カチッ」と音がするところまで差し込みます。
7. 圧力調整バルブを、「減圧」側へ1回転ほどゆるめます。その後、ACプラグを差し込みスイッチを右側（圧送）へONします。
8. 圧力調整バルブの、左側ホース内にエア（気泡）が消えたことを確認後、圧力調整バルブを少しずつ「加圧」側にひねり、圧力ゲージの指針が 100KPa ~ 150KPa 程度で安定するように調整してください。この時、配管各部およびアタッチメント取り付け部に、漏れがないことを確認してください。

※接続各部からの漏れ、またはアタッチメントが浮き上がったり、固定金具の爪が外れかけたりした時は、至急スイッチをOFFして、圧力調整バルブを「減圧」側にゆるめてください。その後、問題力所のセッティングを直して、再度作業に入ってください。
※圧力調整バルブを全閉にすると、約 200KPa までの圧力を発生するように設定されておりますが、タンクの損傷、ホースの劣化などにより、破裂、フルード飛散の原因となります。作業可能範囲内の、なるべく低圧でご使用ください。

※このイラストは[OM-35S]のものです。



9. 作業車両の整備要領書にしたがって、マスターおよびホイールシリンダーからエア抜きを行ってください。
※ 15分以上の連続運転または空回しはしないでください。

※ ABS 装着車、ハイドロブースター装着車は、各メーカー独自の作業手順が指示されている場合があります。これら手順を、確実に実行しないと、エアが完全に抜けません。必ず、整備要領書を確認してください。本機器の作業範囲は、リザーバタンクへの新油補給と、圧送によるペダリング操作の代用のみです。

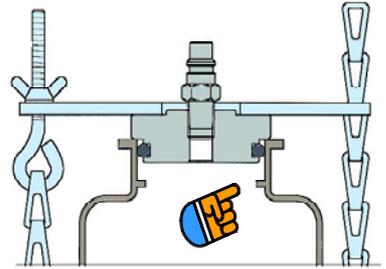
10. 作業完了後、スイッチをOFFし、圧力調整バルブを少しずつ「減圧」側へ開き、圧力計の指針が 0KPa まで下がったことを確認後、アタッチメントおよび機器を取り外してください。
※圧力調整バルブを急激に解放すると、フルードタンク内へ一気に逆流し、気泡の発生、フルードの吹き出しなどを起こします。
※保管時は、必ず AC プラグを抜いてください。アタッチメント他部品は、きれいに拭いて清潔に保管してください。また、アタッチメントの内筒ゴムは、拡張したまま保管しないでください。変形、劣化の原因となります。

ワンマンブリーダー : OM-35 アタッチメント 取付上の注意

① 専用オプションアタッチメントを使用する車種

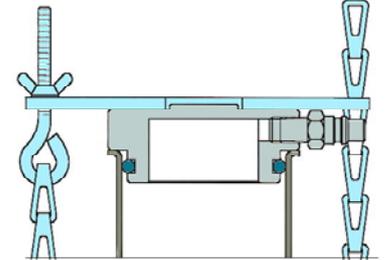
<!> トヨタ車(タンク内径φ 42.5・φ 56.5の車種)

タンク内部に突起部分があるため、専用オプションアタッチメント(P42・P56)の使用を推奨。また、標準アタッチメント使用の場合も、爪タイプの固定金具は、タンク外周の突起部が薄く、掛かりが不安定なため、チェーンプレートタイプの固定金具を使用。



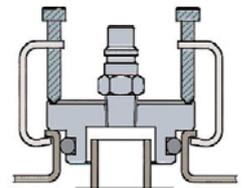
<!> ホンダ車(アクティーおよびタンク内径φ 75の車種)

アクティー、オデッセイなどは、上部にスペースがないため、プラグが横出しの専用オプションアタッチメント(P56・P75)を使用。また、タンク内径φ 75の車種は、爪タイプ固定金具では強度的に不安があるため、チェーンプレートタイプの固定金具を使用。



<!> 三菱車(アクティー・キャンター)

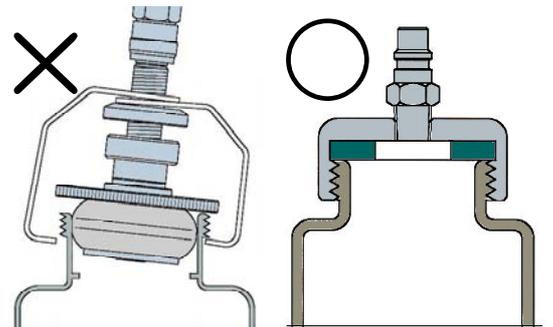
タンク内部にキャップ面近くまでの突起があり、標準アタッチメントは使用できない。専用オプションアタッチメント(P34)を使用するが、チェーンタイプ固定金具がスペース的に使用できないため、簡易型Lフックを使用する。180度向かい合わせてしっかりと固定。



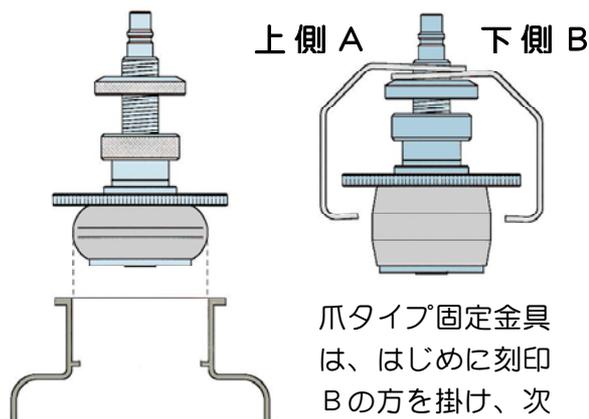
このタイプを使用の時は、絶対に圧送圧力を100kpa以上に上げないこと。

<!> マツダ車(キャップがネジのタイプ)

マツダ車など、タンクキャップがネジタイプの場合、爪タイプの固定金具を使用すると、左右段違いとなり外れる可能性があるため、専用オプションキャップタイプアタッチメントを使用。



② 標準アタッチメント使用上の注意



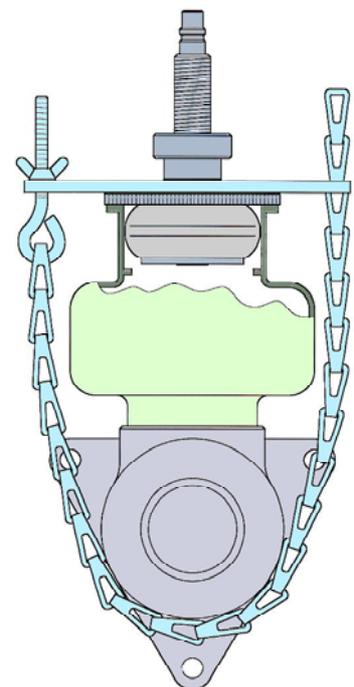
上側 A 下側 B

可変アタッチメントは、内部の突起などに干渉する可能性があるため、予めタンク内径付近まで広げてから挿入する。

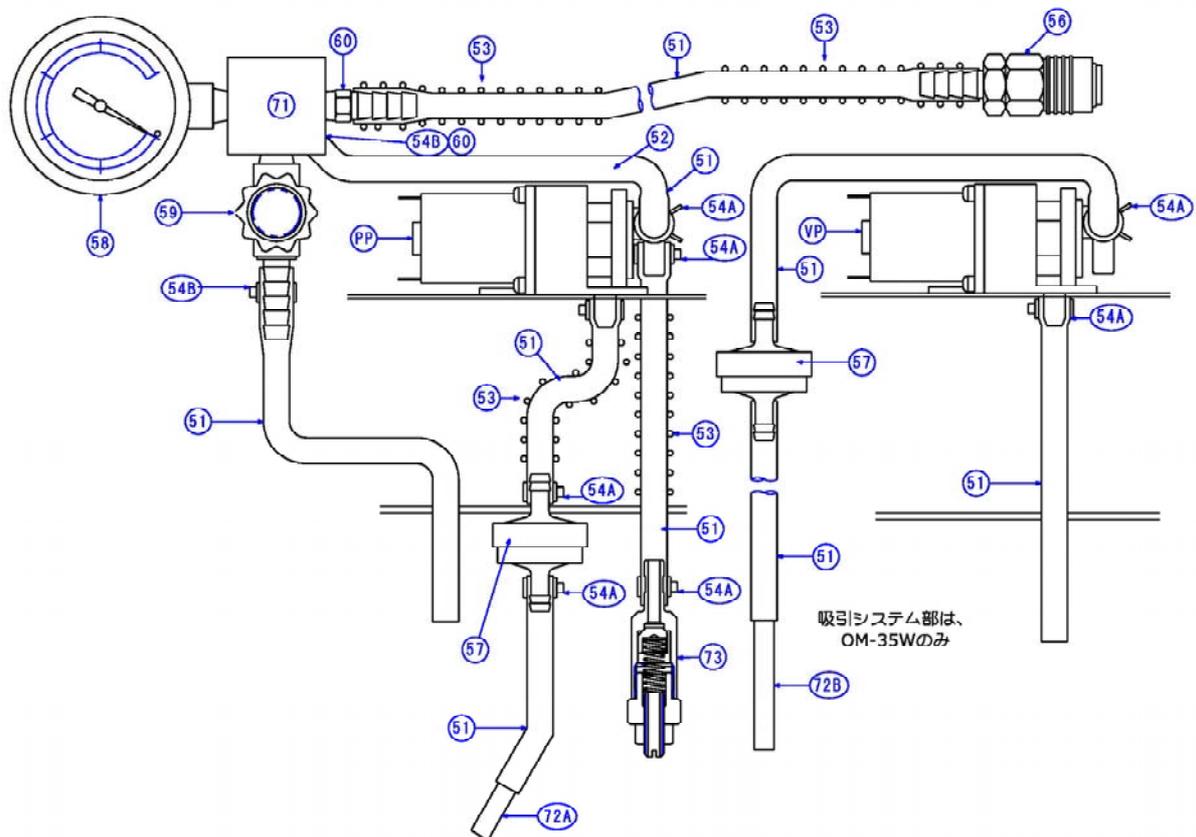
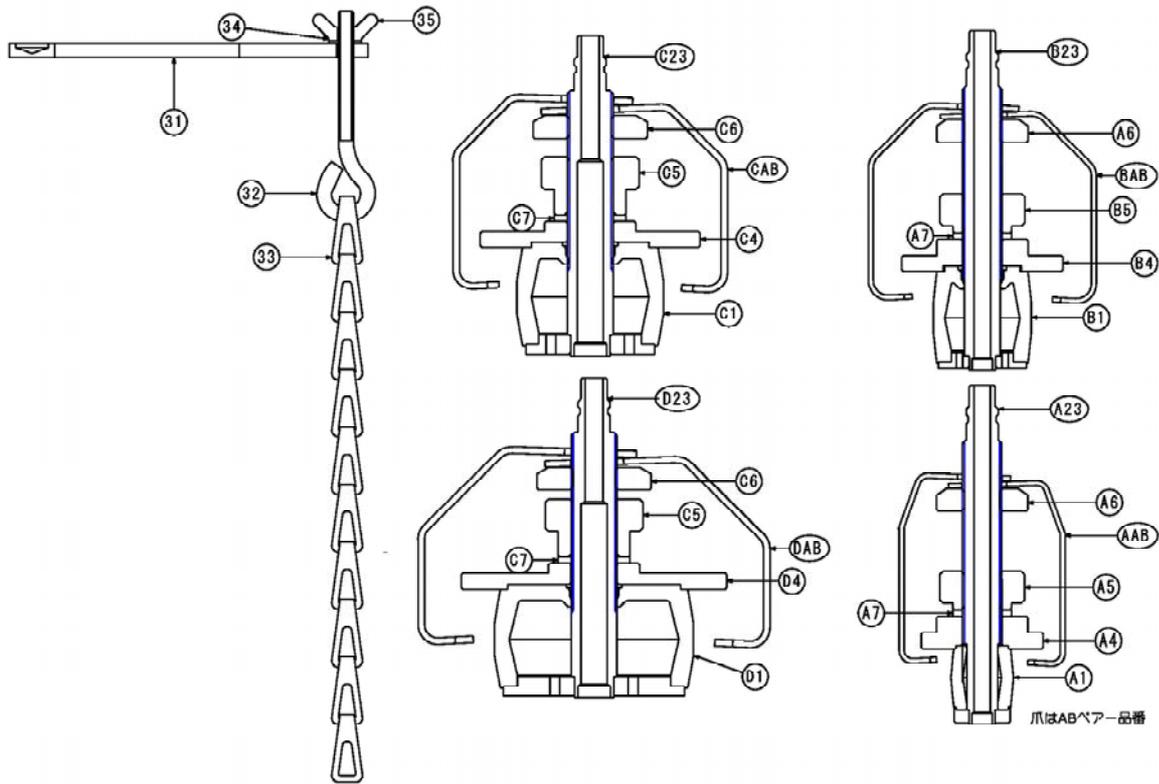
ブレーキフルードの
あふれ出し注意!

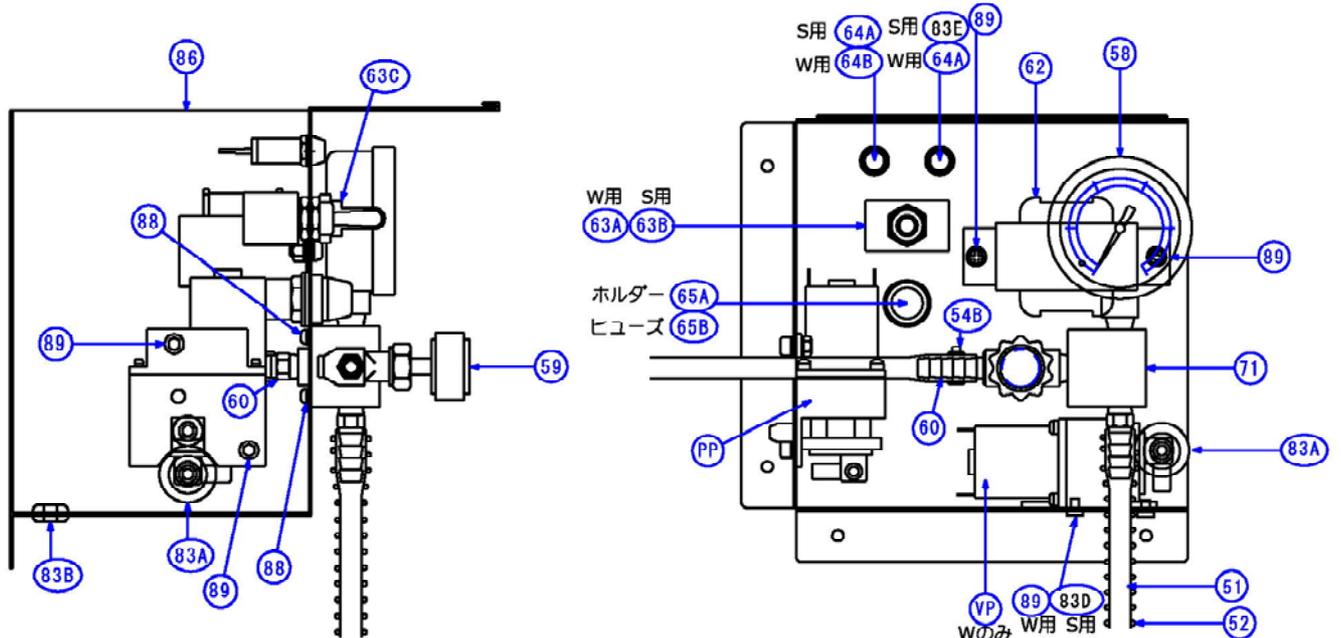
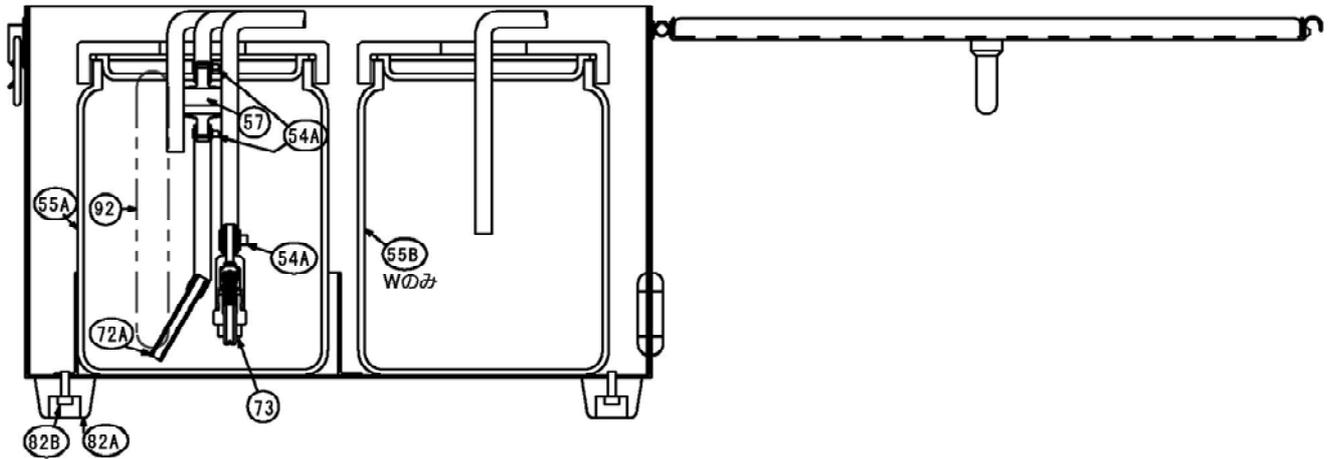
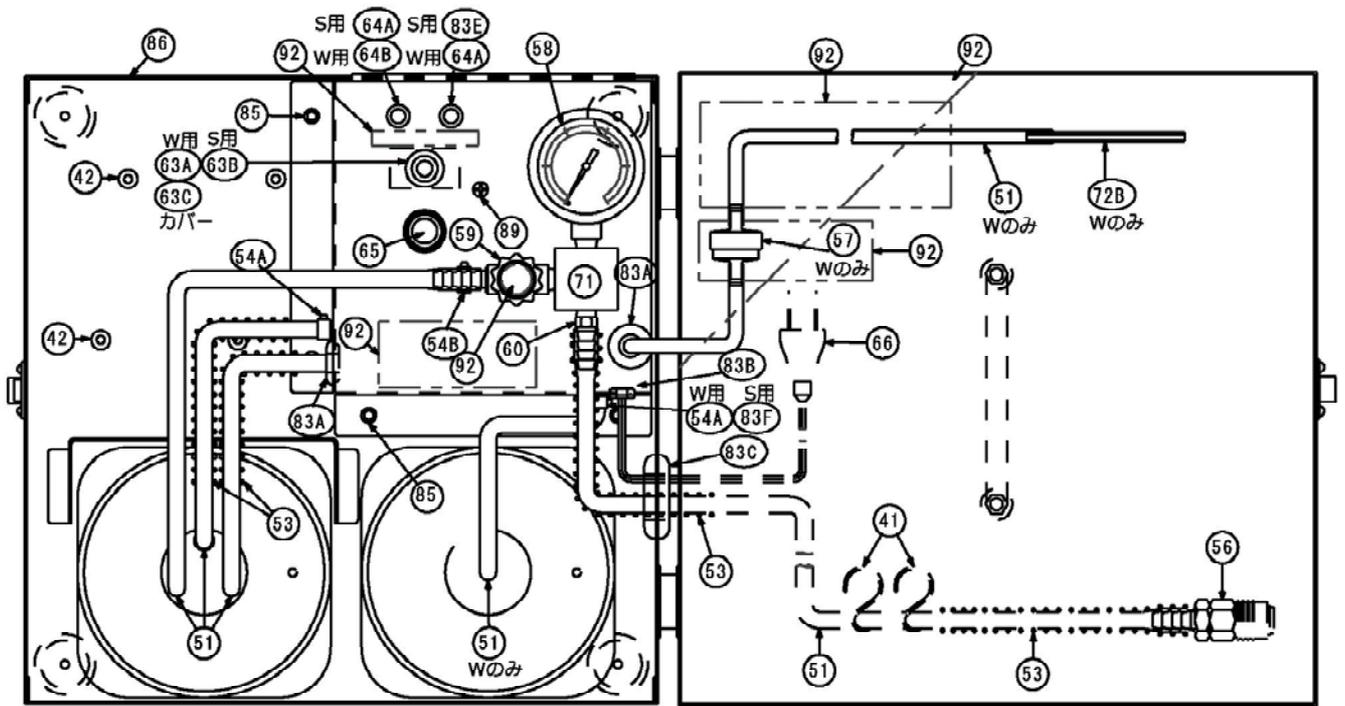
爪タイプ固定金具は、はじめに刻印Bの方を掛け、次に刻印Aの方を掛ける。

万が一に備え、リザーバータンク周囲には、ウエスなどを敷き、車体を防護してから作業に入って下さい。



ワンマンブリーダー : OM-35 部品番号図





- 部品発注の際は、OM-35-の後に、部品図に記載されている番号をご記入の上、本セットをご購入された販売店にお申し込みください。
- この取扱い説明書は、作業時すぐ確認できる場所に保管して下さい。紛失された時は、販売店または当社営業所宛てご請求ください。